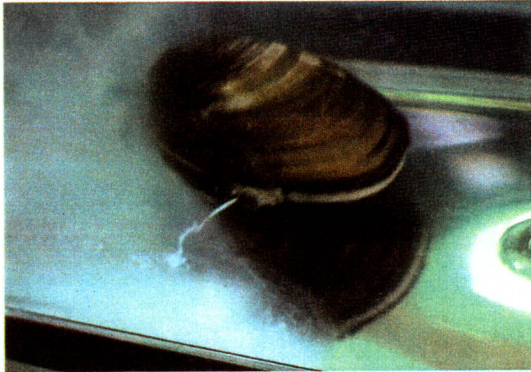


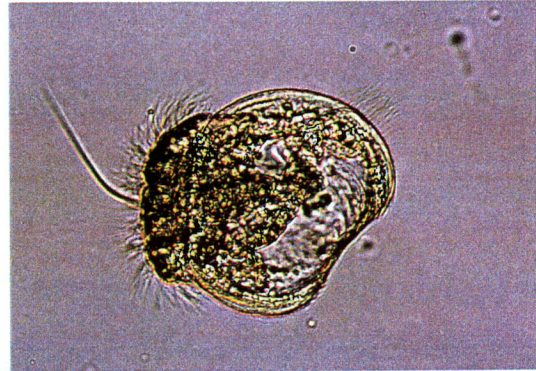
ホッキガイ種苗生産技術開発

ホッキメシなどに利用されるホッキガイは、本県沿岸漁業の重要な種類です。陸上飼育と天然海域で中間育成することにより、1 cm以上の稚貝を約100万個生産する技術を開発しました。



(1) 採卵

3月～4月頃、天然海域から母貝を採捕し、温度刺激を与えることで採卵します。
(温度刺激に反応した雄)



(2) 浮遊幼生・沈着稚貝飼育

浮遊幼生・沈着稚貝を陸上飼育して、2 mmのサイズまで育成します。その後、海面で中間育成をします。

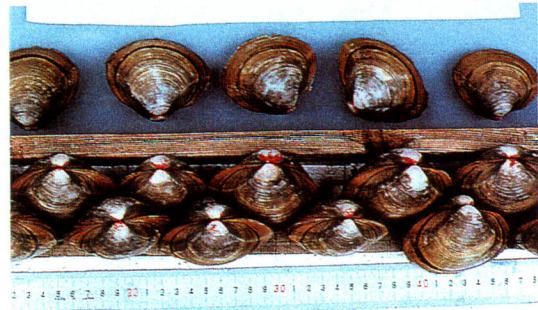
(写真は殻長0.2mmのD型ベリジャー幼生)



(2) 中間育成

2 mm稚貝は砂を敷いたプラスチック製の箱に收容して、天然海域に垂下し2カ月間で殻長1 cmに成長します。

(写真の1袋で約5,000個体)



(4) 放流

1 cmサイズで赤ペンキ標識された後、3年後に漁獲されたホッキガイの成貝。